

《産業保健看護専門家制度名簿登録者に登録された方へ（上級専門家との契約）》

登録者に登録された方は専門家へのステップアップのためにも、上級専門家との指導契約を結び自己研鑽を重ねてください。指導契約方法の詳細は、本制度ホームページからご確認できます。また、上級専門家リストは、本制度ホームページからダウンロードできます。

I. 上級専門家との指導契約の締結（保健師・看護師）

1. 登録者基礎研修指導契約報告書（様式第 23 号）

<指導契約について>

1. 学会ホームページに掲載されている「産業保健看護専門家、産業保健看護上級専門家リスト（PDF）」を参照して、地理的条件等を考慮して、指導を受けたい上級専門家を選び、直接その上級専門家に指導契約の締結を申し込む。
2. 契約を申し込まれた上級専門家は、できるだけ速やかに登録者の要請に応じ自ら指導を引き受けるか、他のより適切と思われる上級専門家を紹介する。
3. 指導を受ける上級専門家が決まったら、登録者基礎研修指導契約報告書（様式第 23 号）を用いて指導契約を締結し、事務局に送付する。
4. 登録者は、上級専門家が指導を行う上で必要な、交通費、連絡費、資料作成等の諸費用を実費弁済する。但し、同一組織の所属者間など、諸費用が不必要な場合には双方の合意で省略または金額を決めることができる。
5. 必要がある場合には、最大 3 人の上級専門家から同時に指導を受けることができる。その際、登録者は、主となる指導者を決め、主指導者と協議した上で他の上級専門家との間で指導契約を結ぶ。
6. 事情により指導者の変更が必要になった場合には、変更することができる。その際、登録者基礎研修指導契約報告書（様式第 23 号）を用いて新たに指導契約を締結し、事務局に送付する。

※ 登録者（保健師）は上級専門家（保健師）と、登録者（看護師）は上級専門家（保健師若しくは看護師）とそれぞれ契約を行う。

※ 指導契約の届け出期限は、登録証に記載されている登録日の翌日から起算して 1 年を経過する日までとする。なお、委員会がその事由がやむを得ざるものと認めた者については、1 年を超えての届け出を認めることができる。